

教 育
問 答

清明心といふこと

——日本人の心のもちまへ——

倉 橋 惣 三

「今日は、ちよつと妙なことを伺ひますやうですが、一體日本人の心のもちまへといふものは、どういふのでございませうか」

「それはどういふことで」
「まあ字の通りでして、清く、明い心といふのですから、うらからいへば、にこりのない、くもりのない心といふ譯でありますう。」

「別に、そんな大きいことを考へて居ります譯でもございせんが、わが子を日本人らしく、眞に日本人らしく育てたいと思ひますと……。」

「それが、日本人の……」
「つまり、大昔の日本人の心もちを、古い物語や、歌などで研究して、さういふことが見へるのです。ところで、それを深く論じ立てることは別として、丁度まあ、幼い子どものもちと同じところがありますね。單純で、わだかまりがなく、ひつこくこごちれてゐず、打ち開いて、すなほに、といふ譯です。」

「一體如何なのでございませう」

「子どものやうなございませう」

「一體といふと、むつかしくなりますがね。また、向き／＼によつて、いろ／＼にもいへませうが……。清明心といふことがよく言はれて居りますね。」

「子どもを皆さういふ心
いるありませうが、子どもにもいろ

お子さん方の防空服装がどこのひましたか

及 川 ぶ ゐ

お子さん方の服装は従来とも活動に便利なものといふ事が先づ頭に浮んで來るのであります。丈夫な布地で作られて、洗濯によく堪へられるものでなければなりません。當節ではこんな條件に合ふものと云へば各家庭で皆さんのお持合せの衣類の厚生が一番よいのであります。

この頃婦人の標準服の奨励の聲も高いのであります。その布地はやはり在來の衣類の厚生でなければなりません。保健の上からも、活動能率の増進の上からも、又布地の經濟といふ點からも是非ともこの標準服を日常の働き衣服として使用しなければならぬのであります。とりわけこの標準服が以上の長所の外に更にその裁縫が簡易であると云ふ大きな特點のあるものであります。標準服製作の立前が自家裁縫といふことに目標をたて、ある事でありませう。

大人用の服装について、自家裁縫主義である以上お子さん方の服装は尙更のこ

に育てなければならぬといへます。」

「それが日本の子どもで」

「さうです。子どもだからといふよりも、日本人の心のもちまへを、ほんたうにもたせるために、子どもの時からといつた方が正しいでせう。」

「やさしいようで、むづかしいことで」

「さうです。ほんたうにさうです。それには、さうするかうすると申すより、私達おとなが、ほんたうに、清く明い心もちでなければなりませんから。子どもの心のもちまへは、清く明いのが本来ですが、それを濁らせ、かげを興へるのはおとなの心です。識らずくの間ね。だから、むづかしいのです」

「ほんたうに」

「完全にさういふ心になることは、なか／＼むづかしいことです。せめて、子どもの前に語る言葉、見せる行ひの中には、妙に複雑だつたり、變に不透明だつたりすることのないように、氣をつけたいものです。つまり、うそや、うらおもてや、ごまかしや、つくろひごまや、さういふこと

ないように」

「それが、なか／＼」

「さうですが、子どもの心にすなほに接してゐれば、私達の心も、おのづとさうなつて来るといふこともあります。さうならすにゐられないといへませう。」

「それでは、子どもの方から教育されますことまで」

「どつちだつていゝでせう。どつちも日本人なのですから、その時、眞に日本人の心のもちまへになり得てゐる方から、すなほに、その心もちを受けとればいゝでせう」

「つまり、すなほといふことに互になるのでございませうね」

「さうです。ほんたうに清く明い互の心になりあふのです。さういふことが常に行はれてゐれば、子どもはいよ／＼清く明い心のもちぬしになります」

「なんだか分りました」

「日本の親が日本の子を、日本人の心のもちまへにするのですもの、なにも理窟はありませぬね」

とお母様の手製のものでなければなりません。

従來の様に既成の幼児服が手軽に購入出来た時代にはこれがなか／＼實行がむづかしい様でありましたが今日こそは實際問題として、これを實行するのに最もよき機會であります。

ことに幼児の非常時服用装について、それ／＼家庭のお母様方の方で考へられてゐる事でありませうが、これが一日も早く實行されたいのであります。ことに女兒の服装については男兒の服装よりもよほど研究の餘地がある様であります。少くとも普通のスカート式のものでは一朝事ある時には身體を包む役が出来ないのであります。國民學校の女生徒たちが甲斐／＼しくモンペ姿で通學する様子を見ても、是非とも幼児用のものも工夫されて一日も早く實行されたいのであります。

洋服のみならず、帽子、上靴などの附屬品なども持ち合せの材料をもつて、各家庭で自家製作品によつて幼児の防空服装の用意を充分にせられんことをおすゝめする次第であります。